

下山商工会 大沼商店街活性化計画

平成26年3月20日

I 大沼商店街の現状と事業の成果

1 大沼商店街の概要

大沼商店街は、豊田市都心から東に 18km、国道 301 号線から三河湖へ向かう県道途中の中山間部にある。大沼の歴史は古く、かつての役場を中心に自然発生的に形成されてきた商店街周辺には戦国時代の城址跡や弘法堂などの史跡が多数存在している。また、商店街近隣には市役所の支所をはじめ、商工会、JA、郵便局、集会所などが立地している。

公共交通機関として、おいでんバス下山・豊田線の大沼停留所に隣接しているものの、商店街への主な来街手段は自動車となっている。

下山地区の人口の推移をみると、1980 年代後半に下山地区で団地の開発が数箇所あったことで人口の増加傾向が続いたが、平成 12 年 1 月の 5,634 人を境に人口の減少に転じ平成 26 年 1 月には 4,986 人となった。

現在の主な客層は商店街区域内に住む高齢者で、徒歩による来店が中心となっており、下山地区の他地区(主に花沢地区)の客は少ない。

近年、商店街の店舗数に変動はほとんどないが、後継者問題や設備の破損により廃業を選ぶ店舗がある。

大沼商店街店舗数の推移

	H22 年 12 月	H26 年 1 月
生鮮食料品	3	3
衣料品	2	2
その他小売	7	7
飲食	1	1
その他サービス	7	6
その他	5	5
合計	25	24
空き家	2	4

大沼商店街



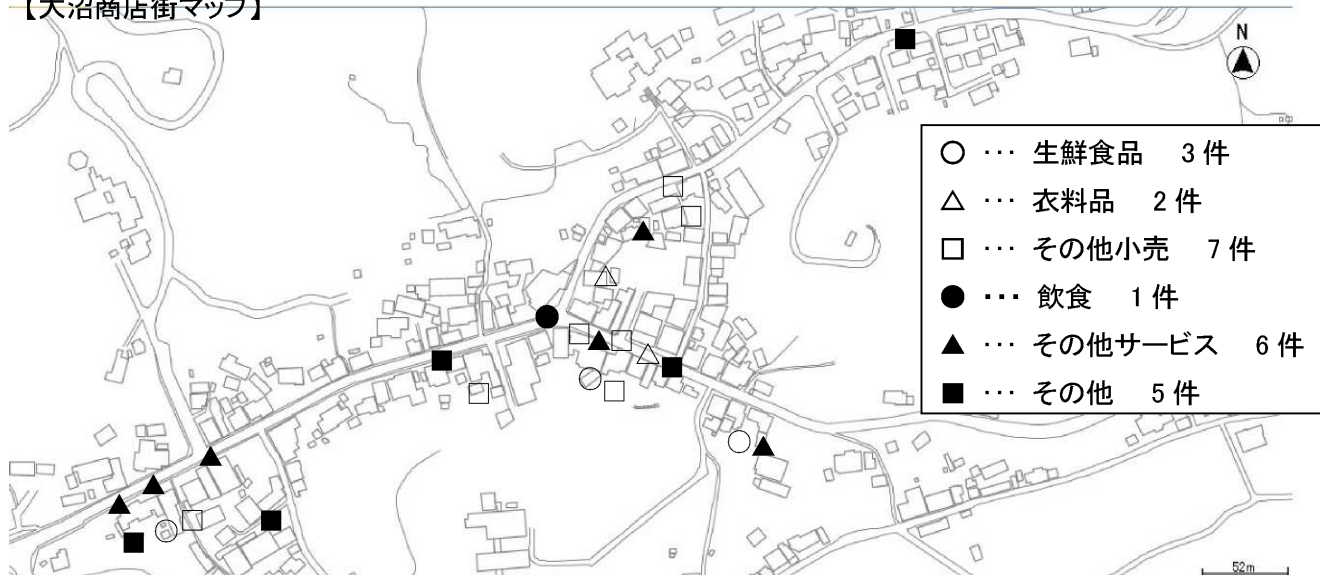
大沼城跡



八十八ヶ所弘法



【大沼商店街マップ】



2 第2期商店街活性化事業の成果

第2期活性化計画では次の3つの目標を掲げ、事業を行なった。

目標1 大沼地区全体をエコミュージアムとして整備(名所づくり)、商店街への集客力向上で回遊する楽しみのある街づくりの推進

【事業1】 周辺施設整備事業

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大沼城跡等周辺の植栽活動(毎年もみじ等 40 本程度植栽) ・八十八ヶ所弘法等の散策道の整備(階段 60 段設置) (第1期事業で整備できなかった箇所)の整備
効果	<p>H23 年度 八十八ヶ所弘法参道の危険個所の歩道整備の実施</p> <p>H23・24・25 年度 ウォークラリーイベントの会場及びチェックポイントとして活用</p> <p>歩道が雨水で滑りやすかったので、階段を整備することで安全に回遊できるようになった。 近隣の寺の行事のときに、歩く人が多くなった。</p>
課題	<p>弘法山の参道を整備し、こぼっちウォーク事業で宣伝をしているが、更に効果的な宣伝を行っていく必要がある。</p>



目標2 「あそこのアレ」といわれる強い商品・サービス(名物)をもつ魅力ある個店づくりの推進

【事業2】 個店経営力強化事業

内容	<p>個店の近代化、顧客サービスの充実を図り、本業を強化することで、個店を元気にし、商店街の活性化につなげる。</p> <p>観光客に対応できるサービス、商品を提供できるようにする。</p>
目標	平成 24 年 1 店舗 平成 25 年 1 店舗
実績	未実施 店舗診断を行い、個店活性化のモデルとなることを希望する事業所を探すことができなかった。
課題	事業主の高齢化が進んでいて、費用をかけて店舗を変えようとする事業主があまりない。

目標3 地域の歴史・文化・自然を活かした市場開発、顧客開発につながる共同事業の実施

【事業3】 イベント恒常化事業

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定期朝市の開催(毎月第4週日曜) ・大沼商店街周辺の史跡を使ったウォークラリー「大沼こぼっちウォーク」の開催
実績	<p>【朝市】 買物客数(1回平均)売上(1回当たり平均)</p> <p>H23年度 70名(目標85名) 41,903円(目標60,000円)</p> <p>H24年度 70名(目標75名) 37,603円(目標50,000円)</p> <p>H25年度 65名(目標80名) 16,703円(目標50,000円)</p> <p>【大沼こぼっちウォーク】 参加者数</p> <p>H23年 87名(目標200名) H24年度 162人(目標200名) H25年度 176名(目標200名)</p>
効果	<p>【朝市】</p> <p>H23年度 しもやまSSカード会の役員が、観光案内人として商店街を訪れた人を案内できる様訓練のため、朝市で参加者を募り史跡めぐりのウォーキングを行った。</p> <p>H24年度 地元野菜を使った漬物の試食、テスト販売を行い、集客を図った。また、下山の他の朝市実施団体と協力し、2回同日開催を行った。</p> <p>H25年度 無料の綿菓子などを配布し、集客に努めた。下山地区の他事業と連携し、朝市をPRした。また下山バスがオンデマンド方式に切替わるのに伴い、バス車中に商店街を宣伝するためのチラシ入れを設置し、商店街の利用を促した。</p> <p>【大沼こぼっちウォーク】(実施時期 11月中旬)</p> <p>H23年度 参加者にイベント当日に商店街(希望者のみ)で利用できるクーポン券を配布した。クーポン券の直接の利用者なし(店舗で商品購入あり 数名(事業者からのヒアリング))</p> <p>H24年度 11月の朝市と同時開催し、集客に努めた。</p> <p>H25年度 11月の朝市と同時開催し、集客に努めた。下山郵便局、豊田市役所地域健康課の協力を得て、イベント内で振込め詐欺の講習会、ウォーク参加者への健康チェック(希望者のみ)を行った。</p>
課題	<p>【朝市】 朝市を平成20年度から開催している。人はある程度訪れてはいるけれど、一回当たりの売上が大きく落ち込んでしまった。また、当初見込んだ三河湖等への観光客の取り込ができなかった。今年度で事業を廃止し、別の集客事業(補助対象外)を開催する。</p> <p>【大沼こぼっちウォーク】</p> <p>参加者のうちリピーターが約40%程いるが、初めての参加者のうちリピーターとなるのは20%程度しかいない。</p>



【第2期事業実績一覧】

項目	実績		
交通量調査	調査日 10月第4土曜日(9:00~15:00)25年11月第1週土曜日		
	調査場所 豊田市大沼町大沼駐在所前		
	調査日	三河湖方面車両数	豊田市街地方面車両数
	H23年10月	965	1,028
	H24年10月	1,110	1,038
H25年11月	905	869	
ギャラリーこぼっち 利用者数	・H23年度 来訪者数 1,426人 ギャラリー展示等 7回 H24年度 " 1,302人 " 3回 H25年度 " 未集計 " 未集計 (目標 平成25年 ギャラリーこぼっち来訪者 3,000人)		
イベントによる集客	・H23年度 こぼっちウォーク 87人 朝市(年8回) 560人 ・H24年度 こぼっちウォーク 162人 朝市(年8回) 560人 ・H25年度 こぼっちウォーク 176人 朝市(年5回) 325人 (25年度 1回台風の影響により中止) 朝市・こぼっちウォーク来訪者(目標 1,050人 実績 平成25年 501人)		
ポイントカード ポイント売上高	・H23年度 2,552千円(導入後) 組合員数 19店 ・H24年度 2,184千円(") 組合員数 19店 ・H25年度 2,160千円(") 組合員数 19店(3月中旬)		

参考 第1期実績(別紙)

Ⅱ 基本方針及び目標

1 基本方針

第1期・第2期商店街活性化計画では、次のとおり基本方針を掲げた。

～地元購買力の流失を防止し、名所と名物づくりで観光客の吸引を図る～

「まちぐるみミュージアム・大沼」

第3期商店街活性化計画(H26年度～28年度)においても上記基本方針に則り、活性化事業を展開していく。

また、第3期商店街活性化計画では、第1期、第2期事業の実績を踏まえて、見直しを行い、朝市事業の廃止と朝市事業に代わる商店街集客のためのイベント事業を企画実施していく。

2 目標

① 大沼地区全体をエコミュージアムとして整備(名所作り)し、商店街への集客力向上と回遊する楽しみのあるまちづくりの推進

・「八十八ヶ所弘法等歩道整備」などにより商店街の回遊性を高め、イベント事業の集客性を向上させる

②地域の歴史・文化・自然を活かしたイベント事業の推進

・「朝市に代わるイベント事業」、「ウォークラリー」の事業改善による集客増・商店街知名度アップを目指す

Ⅲ 商店街活性化へ向けた事業展開

1 個別事業


事業計画1 周辺施設整備事業

事業目的	地元の史跡周辺を整備し利用しやすくすることで、観光客を呼び込む。 史跡散策ルートの中に商店街を入れ、商店街の歩行者の増加を図る。
ターゲット	史跡やウォーキングに関心がある 50 代観光客
事業概要	地元にある史跡等の歩道を整備することで観光客を呼び込む。 第1期、第2期で整備できなかった散策道(八十八ヶ所弘法等歩道)の危険箇所の整備を行う。
事業費	歩道整備費 平成 27 年度 25 万円 平成 28 年度 25 万円
事業効果	史跡やウォーキングに関心のある来訪者を商店街へ取り込むことにより新たな顧客を開拓することが出来る。
成果目標	情報発信施設「ギャラリーこぼっち大沼」への来場者数 1,800 人
推進体制	大沼発展会が実施
関連事業 (地域の動き等)	大沼こぼっちウォーク事業 史跡周辺での植栽活動(大沼発展会) ギャラリーこぼっち大沼で作品展を企画(こぼっち大沼)

事業計画2 大沼こぼっちウォーク事業

事業目的	地区内外の人を大沼商店街に呼び込むため。 史跡を知ってもらいながら、商店街について知ってもらい、リピーターを増やす。 (25 年度アンケート:リピーター37%) 地元でも認知度が低い史跡等があり、地元の認知度を上げ、親しみをもってもらい商店街の利用につなげる。
ターゲット	史跡やウォーキングに関心がある観光客
事業概要	11月中旬に、大沼商店街周辺にある史跡・商店にチェックポイントを設けた、スタンプラリー形式のウォークラリーを行う。 商店では、飲食ポイントを設けて下山の特産品等を味わってもらう。 体験型のポイントを設けていく。 商店街の店舗との連携をさらに深めていく。
事業費	報償費(アルバイト等)、宣伝広告代、チラシ印刷代、警備費、保険料、イベント運営費(テント等) 平成26年～28年度 年間 50 万円
事業効果	大沼商店街周辺の歴史的な史跡を活用し、商店街の歩行者人数の増加を図ることができる。 史跡めぐりのウォークラリーを通じて多くの人に大沼商店街を知ってもらう。 大沼のことを知ってもらうことにより、大沼に愛着を持ってもらう。
成果目標	ウォークラリー参加者 200人
推進体制	こぼっち大沼、大沼発展会、しもやま SS カード会が実施
関連計画や事業	周辺施設整備事業

事業計画3 新規イベント事業 (補助申請対象外)

事業目的	ギャラリーこぼっち大沼を活用し商店街の集客を図る。 定期的にイベントを開催することにより、地元住民に商店街の活動をもっと知ってもらい商店街に愛着をもってもらえるようにする。
ターゲット	下山の大沼商店街をあまり利用しない住民
事業概要	朝市に代わる商店街の集客イベント(ミニコンサート、作品展等)を開催する
事業費	イベント費(有料催事等) 1回当たり10万円
事業効果	大沼商店街にあまり足を運ばない人を商店街に来てもらい、そこから各店舗への誘導につなげる。
成果目標	ミニコンサート1回当たり参加者 40 人
推進体制	こぼっち大沼、大沼発展会、しもやま SS カード会
会場イメージ	

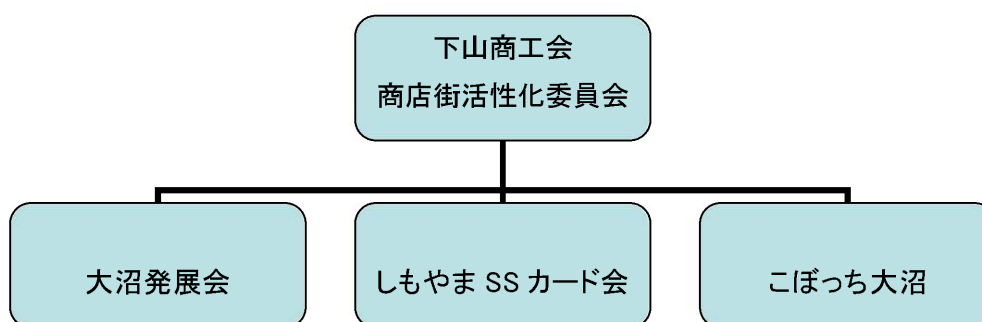
2 計画事業のスケジュール

事業名	26年度【1年目】	27年度【2年目】	28年度【3年目】	総予算
周辺施設整備事業	調査	調査 実施	調査 実施	50万円 (内補助25万)
こぼっちウォーク事業	8月 企画決定 9月 宣伝開始 11月 実施	8月 企画決定 9月 宣伝開始 11月 実施	8月 企画決定 9月 宣伝開始 11月 実施	150万円 (内補助60万)
新規イベント事業	ギャラリー新規イベント事業 (ミニコンサート、作品展など) (こぼっち大沼)	ギャラリー新規イベント事業 (ミニコンサート、作品展など) (こぼっち大沼)	ギャラリー新規イベント事業 (ミニコンサート、作品展など) (こぼっち大沼)	60万円
関連計画や事業	植栽活動(継続) 春の弘法まつり 秋の祭礼への協力 (大沼発展会) 新規加盟店の募集 夏の売り出し マイタウンおいでんへの協力 視察研修 年末の売り出し (しもやまSSカード会) おいでんバス利用者に対するサービス(未定)	植栽活動 春の弘法まつり 秋の祭礼への協力 (大沼発展会) 新規加盟店の募集 夏の売り出し マイタウンおいでんへの協力 視察研修 年末の売り出し (しもやまSSカード会) おいでんバス利用者に対するサービス(未定)	植栽活動 春の弘法まつり 秋の祭礼への協力 (大沼発展会) 新規加盟店の募集 夏の売り出し マイタウンおいでんへの協力 視察研修 年末の売り出し (しもやまSSカード会) おいでんバス利用者に対するサービス(未定)	600万円
成果目標進捗状況	ギャラリーこぼっち大沼来訪者数 平成24年 1,302人 → 平成28年 年間1,800人 こぼっちウォーク参加者のアップ 平成25年 176名 → 平成28年 200人			

IV 推進体制

下山商工会商店街活性化委員会が中心となり、商店街活性化計画の策定、事業全体の企画、運営を行う。大沼発展会等の地元団体は、活性化委員会に参加し、各担当事業の実施をする。担当は次のとおりである。

事業名	実施団体
周辺施設整備事業	大沼発展会
大沼こぼっちウォーク事業	こぼっち大沼 大沼発展会 しもやま SS カード会
新規イベント事業	こぼっち大沼、大沼発展会、しもやま SS カード会



注)各団体について

大沼発展会(会長:平山則雄)

大沼地区に事業所を有する事業者を対象とした事業者団体。
八十八ヶ所弘法の各種管理作業、各種まつり(4月、9月)の主催、植栽活動などを実施。
会員は、商業・サービス業が中心であるが、その他の業種も加入している。
現在、会員数は30事業所。

しもやま SS カード会(会長:小幡勝明)

下山地区内で小売業・サービス業を営む事業者を対象にした、ポイントカード会。
ポイントの発行・換金事業、共同売出等の事業を実施。
現在、会員数は17事業所。

こぼっち大沼(会長:吉田嘉尚)

大沼地区に事業所を有する事業者を対象としたまちづくり団体。
情報発信施設の管理・運営、ギャラリー等のイベントを開催。
現在、会員数は23事業所。

別添 第1期商店街活性化事業の成果

第1期活性化計画では次の5つの目標を掲げ、事業を行なった。

目標1 大沼地区全体をエコミュージアムとして整備(名所づくり)、商店街への集客力向上で回遊する楽しみのある街づくりの推進

【事業1】エコミュージアムコア施設整備

内容	商店街集客の核として、H21年に情報発信施設「ギャラリーこぼち大沼」をオープン
実績	・入場者数 2,413人(1日平均 7.8人) ・ギャラリー展示会 5回開催
効果	ギャラリー開催時に今まで殆ど立ち寄りなかった観光客が立ち寄るようになった。(雑記帳から)
課題	ギャラリー出展者がなかなか見つからず、効果が限定的である



【事業2】周辺施設整備事業

内容	・大沼城跡等周辺の植栽活動 ・八十八ヶ所弘法等の散策道の整備 ・旧跡等の由来看板設置 ・大沼商店街マップ看板設置
実績	H21年度 大沼商店街マップを作成し、各店舗にて配布、商店街及び史跡の宣伝実施 H22年度 ウォークラリーイベントのポイントとして活用
課題	史跡・看板等を整備したが、商店街・史跡の宣伝が十分でなく、更に効果的な宣伝を行っていく必要がある



目標2 車での往来がしやすく、安心して歩ける、個性的で魅力的な商業環境の形成


【事業3】駐車場と街路整備事業

内容	駐車場入口に誘導看板設置
効果	商店街駐車場が道路から奥まった場所にあるため、場所が分かりにくかったが、誘導看板設置により分かりやすくなった






目標3 住民やほかのまちづくり団体等との協力体制を強化し、地域と商店街に誰もが利用しやすい様々な消費者サービスの導入

【事業4】 ポイントカード機導入事業

内容	磁気カードによるポイントカード機を導入し、内需拡大を図った。また、磁気カードへの移行を宣伝するイベントを開催	
実績	ポイント売上 ・平成 19 年 962 千円(導入前)組合員数 17 店 ・平成 20 年 3,184 千円(導入後)組合員数 19 店 ・平成 21 年 3,077 千円(")組合員数 19 店	
効果	導入宣伝のためのイベントの実施により、ポイント利用率があがり、一定の効果があった。また、地元自治区と連携し、行事等の記念品としてポイントカードの満点カード(500 円相当分)を商品券代わりに利用してもらうなど利用促進を図った。 また、回収カード 1 枚につき 20 円を地域の団体に寄付を行うために積立て、平成 22 年に下山地区のこども園 2 ヶ所に絵本等の寄付を行った。	
課題	カード会の加盟店増強については、増減はなく新規加盟店開拓はできなかった	





目標4 地域の歴史・文化・自然を活かした市場開発、顧客開発につながる共同事業の実施

【事業5】 イベント恒常化事業

内容	・定期朝市の開催(毎月第 4 週日曜) ・大沼商店街周辺の史跡を使ったウォークラリー「大沼こぼちウォーク」の開催	
実績	【朝市】 買物客数(1回平均) H20 年度 80 人 H21 年度 60 人 【大沼こぼちウォーク】 参加者 H22 年 106 人	
課題	【朝市】 H20 年度 地元からの参加者が多く、観光客はあまり見受けられなかった H21 年度 朝市開催看板の整備により観光客が増えたが、地元農産物がないと帰ってしまうことが多い。地元農産物の取扱量を増やしていく必要がある。	
		
	【大沼こぼちウォーク】 参加者 500 人を目標としていたが、内容決定までに時間がかかり、宣伝期間が取れず、目標を大きく下回った。	
		

目標5 「あそこのアレ」といわれる強い商品・サービス(名物)をもつ魅力ある個店づくりの推進

【事業6】 既存店活性化事業

内容	弘法さんを基にしたキャラクター「こぼっち」をつくり、商店街 PR グッズを作成	
実績	H20 年度に情報発信施設とともに大沼商店街を弘法大師のまちとして売り出すため、そのイメージキャラクターとして「こぼっち」を作成。	
	H21 年度に「こぼっち」グッズを作成。	
	 のぼり	弘法大師に関するイベント時に使用
	 ポスター	朝市開催を宣伝するための箇所を設けているが、行っているのは一部に留まる
 シール	各店舗でレジ袋等に貼って利用。しかし、消費者が拒否する場合もあり	
 ストラップ	「こぼっちウォーク」参加者記念品として配布。残りは商店街店舗で販売	



【事業実績】

項目	実績												
交通量調査	調査日 10月第4土曜日(9:00~15:00)												
	調査場所 豊田市大沼町大沼駐在所前												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>調査日</th> <th>三河湖方面車両数</th> <th>豊田市街地方面車両数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20年10月</td> <td>994</td> <td>1,065</td> </tr> <tr> <td>H21年10月</td> <td>1,336</td> <td>1,045</td> </tr> <tr> <td>H22年10月</td> <td>1,033</td> <td>1,944</td> </tr> </tbody> </table>	調査日	三河湖方面車両数	豊田市街地方面車両数	H20年10月	994	1,065	H21年10月	1,336	1,045	H22年10月	1,033	1,944
	調査日	三河湖方面車両数	豊田市街地方面車両数										
	H20年10月	994	1,065										
H21年10月	1,336	1,045											
H22年10月	1,033	1,944											
ギャラリーこぼっち利用者数	・H21年度 来訪者数 2,413人(1日平均 7.8人 目標 50人) ・ギャラリー展示回数 5回												
イベントによる集客	・H20年度 朝市(年9回) 720人 ・H21年度 朝市(年9回) 540人 ・H22年度 こぼっちウォーク 106人												
ポイントカードポイント売上高	・H19年度 962千円(導入前) 組合員数 17店 ・H20年度 3,184千円(導入後) 組合員数 19店 ・H21年度 3,077千円(") 組合員数 19店												